

音声認識で空港案内を簡単に使えるアプリ

年間3300万人が利用する成田空港は、格安航空会社LCCの進出などでこれまで以上に利用者の年齢層が多様化している。広

業種

運輸業・倉庫業

活用分野

空港内の様々な案内

テクノロジー

音声認識・意図解釈技術

端末

スマートフォン 

大な空港内では、飲食店や店舗など構内情報を探す顧客が多いものの、案内カウンターが遠かったり、混雑していたりと既存の案内サービスだけでは十分といえない状況になりつつあった。

そこで、2013年11月より、誰でも簡単に求めるサービスを音声で探せる「成田コンシェルNariCo」の提供を開始。NTTドコモが提供しているアプリ「しゃべってコンシェル」をカスタマイズして開発した(音声認識技術はGoogleのエンジンを利用)。

話す
チェックインカウンター
はどこですか



利用者はNariCoを呼び出し、例えば「ラーメンが食べたい」と話すと、お店が案内される。フライト情報の閲覧も可能だ。

成田空港では、問い合わせ内容を分析し、空港サービスの向上にも活用するという。